

第1号様式

千葉県科学技術功労者推薦書

年 月 日

千葉県知事 様

推 薦 者  
所 在  
名 称  
代表者名

下記の者を科学技術功労者表彰受賞候補者として推薦します。

記

氏 名  
住 所  
会 社 名

候補者調査書

年 月 日

- 1 候補者
  - (1) 氏 名
  - (2) 生年月日
  - (3) 本 籍 地
  - (4) 現 住 所
  
- 2 候補者の所属する会社・公益法人等
  - (1) 名 称
  - (2) 所 在 地
  - (3) 業 務 内 容
  
- 3 候補者の勤務上の地位
  
  
- 4 業績内容
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- 5 実績
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- 6 人格・信用状況

※ 功績は、抽象的な表現ではなく、具体的な数字や事例をあげる等、詳細に記述すること。特に、事績の効果・結果について重点を置き記載すること。

## 候補者調査書記載要領

### 1 候補者

- (1) 氏名 戸籍と同一文字を使用し、必ずふりがなをつけること。
- (2) 生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日
- (3) 所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇番地
- (4) 現住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇番地の1

### 2 候補者の所属する会社、公益法人等

- (1) 名称 〇〇〇株式会社
- (2) 所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇番地の2
- (3) 業務内容 〇〇〇の製造

### 3 候補者の勤務上の地位

〇〇〇株式会社取締役社長のよう記載すること。

### 4 業績内容

別添の「千葉県科学技術功労者表彰実施要領」第2 1 (1)～(4)の対象事項のいずれに該当するか明らかにし、その内容をわかりやすく明確に記載すること。

特許、実用新案がある場合はその名称、出願公告番号及び登録番号を記載し、その中で重要なもの又は代表的なもの（2件以上でもよい。）については、公報の写しを添付すること。

なお、新聞、業界誌、その他の資料等で当該技術が紹介された場合は、その資料を添付すること。

### 5 実績

別添の「千葉県科学技術功労者表彰実施要領」第2 1 (1)、(2)又は(4)の対象事項に該当する場合は、当該科学技術の成果の活用によってどのような実績があげられているか具体的に記載すること。

例えば、それが製品又は装置である場合には、次の項目について記載するとともに当該技術が科学技術の進歩、産業の発展、その他県民生活の向上等に及ぼした影響について記載すること。

- ア 生産状況 [生産数量、金額及び全国生産数量に対する市場占有率（市場占有率を算出した根拠についても付記すること。）]
- イ 主な販売先又は使用先
- ウ 輸出状況（輸出先、輸出数量及び輸出金額等）
- エ 実施効果（生産性、価格、精度、性能等について従来の技術、製品と比較して記載すること。）

また、「千葉県科学技術功労者表彰実施要領」における2の対象事項の(3)に該当する場合は、科学技術の振興に及ぼした効果について具体的に記載すること。

### 6 人格・信用状況

(注) この調査書はA4用紙5枚程度にまとめること。

第3号様式

候補者調査書抄録

ふりがな 氏名				生年月日	
現住所	TEL				
現職					
代表的な発明又は研究の名称					
出願公告番号及び特許登録番号					
候補者が勤務する会社の資本金		円	従業員数		人
本件に関する連絡場所と担当者名	TEL				
発明又は研究の実績（過去3年間）					
製品名					
	年	年	年	市場占有率の算出方法	輸出先
生産数量					
生産金額					
市場占有率					
輸出額					
業績の内容及び成果（1,000字程度）					

# 履 歴 書

本 籍

現住所 〒

ふり がな  
氏 名

年 月 日生(満 歳)

## 学 歴

昭和 年 月 日 ○○県立○○高等学校卒業  
(昭和 年 月 日 ○○大学○○学部卒業)

## 職 歴

(功績に係る関係)

自 昭和 年 月 日  
株式会社○○開発部

至 昭和 年 月 日  
自 昭和 年 月 日  
株式会社○○工場長

至 昭和 年 月 日

(その他の関係)

自 昭和 年 月 日  
○○市消防団団長

至 昭和 年 月 日  
自 昭和 年 月 日  
株式会社○○ 顧問

至 昭和 年 月 日

## 賞 罰

昭和 年 月 日 ○○県知事表彰 (○○功労)

平成 年 月 日 ○○大臣表彰 (○○功労)

平成 年 月 日 株式会社○○社長表彰 (永年勤続○○年)

(記入上の注意)

- 1 学歴については、最終学歴を記載すること。
- 2 職歴については、
  - ①まず功績に係る関係を記載し、次にその他の関係を記載すること。
  - ②団体役員等の経歴については、任期ごとに記載すること。
  - ③生業（収入の糧となるもの）については、必ず記載すること。
- 3 賞罰歴については、知事表彰以上のものをすべて記載すること。その際、受賞理由（〇〇功労）を付すること。